

Kami Town Council News No.83

# かみ議会 だより

令和7年9月定例会号



香住ガニ!  
シーズン到来!!

今月のトピック

令和6年度決算認定!!

香美町議会の情報はこちら



## ■一般会計

### 賛成多数で認定

#### ・お金の出入り

|              |        |                                                            |
|--------------|--------|------------------------------------------------------------|
| 収<br>(入ったお金) | 入<br>金 | 178億5,824万円                                                |
| 支<br>(使ったお金) | 出<br>金 | 169億8,409万円                                                |
| 差<br>(残ったお金) | 引<br>額 | 8億7,415万円<br>(内 翌年度繰越額 4億9,515万円)<br>(内 財調基金繰入額 3億7,900万円) |

【収入の一部内訳】 ・町税（町民税や固定資産税等）15億8,593万円  
・地方交付税 70億4,665万円

#### ・まちの基金（貯金）

|                             |            |
|-----------------------------|------------|
| 財 政 調 整 基 金<br>(町の将来に残したお金) | 39億2,738万円 |
| 減 債 基 金<br>(返済に向けて蓄えるお金)    | 1億9,527万円  |
| 公 共 施 設 等 金<br>管 理 基 金      | 10億9,909万円 |

(※決算書より抜粋／金額は収入済額／1万円未満は四捨五入しております。)

## ■5特別会計

| 認 定       | 事業区分          | 収 入<br>(入ったお金) | 支 出<br>(使ったお金) | 差 引 額<br>(残ったお金) | 差 引 額<br>基 金 繰 入 | 決 算 年 度 末<br>基 金 現 在 高 |
|-----------|---------------|----------------|----------------|------------------|------------------|------------------------|
| ○<br>賛成多数 | 国民健康保険        | 20億8,710万円     | 20億8,152万円     | 558万円            | ○                | 5,704万円                |
| ○<br>賛成多数 | 後期高齢者<br>医療保険 | 3億5,278万円      | 3億5,194万円      | 84万円             | －                | －                      |
| ○<br>全員賛成 | 介護保険          | 24億4,052万円     | 24億2,499万円     | 1,554万円          | ○                | 2億7,970万円              |
| ○<br>全員賛成 | 財産区           | 267万円          | 135万円          | 132万円            | －                | －                      |
| ○<br>全員賛成 | 町立地方<br>卸売市場  | 55万円           | 55万円           | 0円               | －                | －                      |

(※決算書より抜粋／1万円未満は四捨五入、その為金額が合わない場合があります。)

## ■一般会計

### 質疑

#### ○小代地域局

問 地域活性化センターの設置目的は。

答 経年劣化が進行し更新時期を迎えており、小代物産館検討委員会から当該施設は小代の玄関口で、国道482号線沿いの立地を活かし交流拠点としての役割を果たしており、今後の小代地区の活性化及び地域住民の交流促進、観光客など外部の方との交流促進を図るため、現在の場所に建物の再整備が必要との意見を頂き、それに沿って令和6年度に詳細な設計をしました。



改修予定の小代物産館

#### ○村岡地域局

問 味取俵石遊歩道の事業効果と維持管理は。

答 県の郷土記念物に指定されているカンラン石玄武岩の柱状節理であり、山陰海岸ジオパークのジオスポットとして、香住区と村岡・小代区を繋ぐ観光施設です。

遊歩道の清掃活動等の維持管理は地元の意味取区に依頼しています。

#### ○町民課

問 最終処分場廃止検討に関係住民の参加は。

答 昨年11月に大野区の役員の方々と協議を行いました。また、今後課題の整理ができた段階で、関係住民への説明会、意見交換会を設けていきます。

#### ○健康課

問 こころの健康づくり対策事業の効果は。

答 こころの悩みや生きづらさを抱えている方が専門医の相談を受けることで、医療機関受診の必

要性について助言を受け、適切な医療に繋がっています。

ひきこもり支援センターは開設から4年目となり、10代から60代までと年齢幅も広がっており、相談内容も様々です。

センターを居場所として継続的に利用することで利用者同士の交流が始まったり、福祉サービスや就労支援に繋がったケースもあります。

### 福祉課

**問 何故、村岡老人福祉センターの貸館日数24日、総利用者数が1千人減っているのか。**

**答** 令和5年度はコロナワクチン接種で4回、約850人利用があったものが減少、高齢化による事業参加人数の減少、活動しない団体の増加、活動の縮小、定年引上げ、再雇用等で他に交流の場が増え、取り巻く環境が変化したことなどが主な要因です。

### 教育総務課

**問 学校施設利用の検討状況は。**

**答** 副町長を委員長として総務、財政、企画、教育総務、生涯学習、その他関係課による「公共施設活用検討委員会」を組織して、担当課のみで検討するのではなく、庁内で横断的に対応する体制をとって検討を進めています。

### 生涯学習課

**問 講師報償費の金額、内訳詳細を。**

**答** オリンピアンススポーツレバレッジアップ事業34万4600円です。  
小林祐梨子氏を講師に招き陸上駅伝教室（60名参加）開催しました。  
日本体育大学・香美町連携事業20万9990円  
女子バレーボール部コーチ武田義也氏と春高バレー優勝経験のある部員2名による教室（延べ80名）開催しました。

### こども教育課

**問 香住区2私立保育園の認定こども園への協議の進捗は。**

**答** 令和6年6月に関係者からなる「香住就学前施設再編検討委員会」を設置、協議を進めており、令和10年4月から香住地区に私立認定こども園2園、柴山地区に公立こども園1園を開設する案が香美町総合教育会議に提案承認されました。

### 農林水産課

**問 中山間地域等直接支払い、各協定にどう支援したのか。**

**答** 第6期に向け、対象用農地の要件が「農振農用地区域内及び地域計画区域内の農用地」に見直し地域計画策定が必須となりました。計画策定に向け令和6年9月に各協定に対して意向調査を行い、「高齢化で5年間の耕作が難しい、制度が複雑で解りにくい」との意見がありました。

そこで、制度改正の説



うへ山の棚田

### 観光商工課

明、計画の策定の説明会を開き周知を図り、その支援をしました。

**問 物価高騰対策応援券配布事業の実績と効果は。**

**答** 令和7年3月に、町内住所を有する方を対象に一人1万円の商品券を配布しました。

使用期間は令和7年3月14日から7月31日まで

の4カ月半で、15万879枚が町内の協力店舗で食料品、生活用品、燃料等の購入に利用されました。

住民の生活支援において一定の効果があつたと考えています。

### 建設課

**問 「公営住宅建設事業**

費」について、住民は住んでいなかったのか。土地は町所有なのか。解体工事完了はいつ頃なのか。

**答** 大谷第一住宅は、2棟6戸の住宅であり、現在、居住者はいません。土地所有者は民間の方で町が借地として利用しています。

解体撤去後は更地にして返還し、令和7年度中の完了を目指します。

### 防災安全課

**問 地域防災拠点整備事業の進捗は。**

**答** 令和6年度完成予定でしたが、資材調達に時間を要し、令和7年度に繰り越し工事を進めています。



香美町地域防災拠点

電気インフラの供給が遅れ、施設への受電ができず、工期を延長11月末の竣工予定です。

駐車場整備工事は、施設建設工事の資材置き場としており、11月末の完成予定です。

備品等は、すでに配備しているフォークリフト等一部ありますが、派遣職員等の待機用簡易ベッ トや物資の積み下ろしに使用するパレットは、施設完成後に納入します。

施設完成後は、本庁や近隣倉庫に備蓄している保存食や保存水、災害用毛布を速やかに移動します。

### 企画課

**問 タクシー運行継続支援600万円の補助要綱第2条の対象者は。**

**答** 道路運送法の規定による一般乗用旅客自動車運送事業の許可を受け、6カ月以上継続しているタクシー事業者で町内には2社あります。

総務課

職員募集広告掲載料

は。

答 就職情報サイトへの掲載、チラシの町内全戸、近隣大学や専門学校への配布に加え、大学主催の就職セミナー、北近畿自治体の合同オンライン説明会へ参加し、より多くの受験者に周知を図りました。

また、職員採用プロジェクトチームの提案により、PR動画制作を外部委託しました。

問 税の滞納整理はどうしているか。

税務課

①差押  
②時効停止  
③時効による消滅  
④その他

答 ①連絡の取れない方、納税相談・交渉をしても誓約通り納付のない方は財産調査のうえ、差押を実行しました。

②リストを作成し、必要があれば催告、差押による時効の停止、債務の承

総括質疑

日本体育大学との連携について実績をふまえて期待した効果は。

答 町長 町民の皆様が身近にトップレベルの専門的指導を受けることができ、健康や体力増進、運動技術の向上に繋がっています。世代間の交流やコミュニティの活性化、町に住むことへの満足度の向上、町づくりの一環に効果があるものと考えます。

答 町長 子どもたちだけでなく指導者や学校関係者にとっても学びの機会となり、スポーツの裾野を広げる成果に繋がっています。

今後この取組を継続し町民の健康増進、青少年の健全育成を図るとともに、協力やチームワークなど地域社会と繋がりを深める教育的役割を果たしていきます。

問 矢田川温泉、おじろんは民間から町の直営となったが地域の活力を

奪っていないか。

答 町長 地域振興や住民福祉という観点から町が引き継いでおり、直営での運営継続は、むしろ地域の拠点、活力を維持しています。

問 最終処分場の処理水の矢田川放流はなくなるのか。

答 町長 浸出水に効果的な防水シートによるキャッピング工事等の対策を検討することとしており、現時点では放流予定です。

答 教育長 子どもたちだけでなく指導者や学校関係者にとっても学びの機会となり、スポーツの裾野を広げる成果に繋がっています。

今後この取組を継続し町民の健康増進、青少年の健全育成を図るとともに、協力やチームワークなど地域社会と繋がりを深める教育的役割を果たしていきます。

問 矢田川温泉、おじろんは民間から町の直営となったが地域の活力を

奪っていないか。

答 町長 地域振興や住民福祉という観点から町が引き継いでおり、直営での運営継続は、むしろ地域の拠点、活力を維持しています。

問 最終処分場の処理水の矢田川放流はなくなるのか。

答 町長 浸出水に効果的な防水シートによるキャッピング工事等の対策を検討することとしており、現時点では放流予定です。

答 教育長 子どもたちだけでなく指導者や学校関係者にとっても学びの機会となり、スポーツの裾野を広げる成果に繋がっています。

今後この取組を継続し町民の健康増進、青少年の健全育成を図るとともに、協力やチームワークなど地域社会と繋がりを深める教育的役割を果たしていきます。

問 矢田川温泉、おじろんは民間から町の直営となったが地域の活力を

奪っていないか。

答 町長 地域振興や住民福祉という観点から町が引き継いでおり、直営での運営継続は、むしろ地域の拠点、活力を維持しています。

問 最終処分場の処理水の矢田川放流はなくなるのか。

答 町長 浸出水に効果的な防水シートによるキャッピング工事等の対策を検討することとしており、現時点では放流予定です。

答 教育長 子どもたちだけでなく指導者や学校関係者にとっても学びの機会となり、スポーツの裾野を広げる成果に繋がっています。

今後この取組を継続し町民の健康増進、青少年の健全育成を図るとともに、協力やチームワークなど地域社会と繋がりを深める教育的役割を果たしていきます。

問 矢田川温泉、おじろんは民間から町の直営となったが地域の活力を

奪っていないか。

答 町長 地域振興や住民福祉という観点から町が引き継いでおり、直営での運営継続は、むしろ地域の拠点、活力を維持しています。

問 最終処分場の処理水の矢田川放流はなくなるのか。

答 町長 浸出水に効果的な防水シートによるキャッピング工事等の対策を検討することとしており、現時点では放流予定です。

答 教育長 子どもたちだけでなく指導者や学校関係者にとっても学びの機会となり、スポーツの裾野を広げる成果に繋がっています。

今後この取組を継続し町民の健康増進、青少年の健全育成を図るとともに、協力やチームワークなど地域社会と繋がりを深める教育的役割を果たしていきます。

問 矢田川温泉、おじろんは民間から町の直営となったが地域の活力を



最終処分場「矢田川レインボー」処理水放流口

問 県下ワーストワンのラスパイレス指数の改善は。

答 町長 主幹程度を

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

| 議案番号 | 議案名                                                                                 | 村田 行信 | 山根 典明 | 中村 崇志 | 脇坂 英作 | 山本 賢司 | 谷口 眞治 | 森浦 繁 | 田野 公大 | 伊藤 敦紀 | 見塚 修 | 西谷 尚 | 松岡 大悟 | 東垣 典雄 | 藤井 昌彦 | 西川 誠一 | 吉川 康治 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 75   | 香美町税条例の一部を改正する条例を定めることについて                                                          |       |       |       |       | ×     | ×     | ×    |       |       |      |      |       |       |       |       | —     |
| 76   | 香美町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて |       |       |       |       | ×     | ×     |      |       |       |      |      |       |       |       |       | —     |
| 78   | 令和6年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について                                                           |       |       |       |       | ×     | ×     |      |       |       |      |      |       |       |       |       | —     |
| 79   | 令和6年度香美町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                   |       |       |       |       | ×     | ×     |      |       |       |      |      |       |       |       |       | —     |
| 80   | 令和6年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                |       |       |       |       | ×     | ×     |      |       |       |      |      |       |       |       |       | —     |
| 84   | 令和7年度香美町一般会計補正予算（第3号）                                                               |       |       |       |       | ×     | ×     | ×    |       |       |      |      |       |       |       |       | —     |

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。

係長及び総括係長制の2段階とし、時間外手当のない管理職には管理職手当を1.5倍にするなど、改善を図っています。

県市町振興課より町職員の年齢層からみて今後年齢が上げればラスパイルス指数が改善すると指摘がありました。

## 討論

### 一般会計

反対討論 谷口 眞治議員

災害対応について、小災害の農地、農業用施設災害の復旧工事に対する分担金徴収は、国の激甚災害指定による100%近い高い補助率により分担金の廃止が求められている。

加速する少子・高齢化問題について、所得制限付きの乳幼児・こども医療費無償化が継続されているが、令和7年度の所得制限の廃止が求められている。

物価高を下回る賃金、

年金で苦しむ町民のくらし応援対策は、年度の終わり近くの補正予算でなく当初予算で提案すべきである。

「標準準拠システム」に係る費用は、自治体に大きな負担を押し付けられるものである。

次の課題解決の決算でない。

- ① 社会福祉協議会の人件費不足問題への対応
  - ② 香美町最終処分場処理水の矢田川放流問題
  - ③ 公民館講座や高齢者大学の受講料徴収問題
  - ④ 正規職員の不足と県下ワースト1のラスパイルス指数
- 以上、問題点を指摘する。

### 賛成討論

西谷 尚議員

令和6年度一般会計決算は、実質収支、単年度収支ともに黒字となっている。また実質公債比率、将来負担比率ともに健全である。

決算審査では、不要額が多い事業においては早めに町民のための新たな予算組みを行う事が望ま

しいなどの指摘もあった。しかし、物価高騰が町民の生活に大きな影響を与えていた中で、町民の暮らしに寄り添い、発生する諸課題にも真摯に取り組んでいた決算である。

### 5 特別会計

#### 国民健康保険事業 特別会計

### 総括質疑

問 基金を統一後も持ち続けるのか。

答 町長 現在も県と全市町で統一に向けた協議をしており、活用可能な使途について詳細が決まっていないため、現段階で基金の保有が必要かどうかわかりません。

## 討論

反対討論 山本 賢司議員

令和6年度の国保税は軽減のために1500万円の基金を繰り入れたが、7.2%、平均9408円の増税になっている。住

民の生活苦の中での増税は認められない。  
令和6年度末の基金残高が5704万円と示された。県下の国保税は令和9年度一次統一、令和12年度完全統一を目指している。このままでは統一後の基金活用は見通せない。標準税率5.61%という中で統一後は大増税が見込まれる。先の見えない中で、統一に向かうことは国保の被保険者の暮らしを更なる苦しみの中に陥れることになる。

#### 後期高齢者医療 保険事業特別会計

### 総括質疑

問 年齢で区分するこの制度自体が現役と高齢者を分断するものではないか。

答 町長 制度に持続性を維持するためには、財政健全化や予防医療の推進、世代間の負担の適正化の観点で見直しを行い、分断・対立ではなく、相互協力によって持続可能な医療制度を築いてい

## 討論

反対討論 山本 賢司議員

総括質疑に対する答弁で、町長は「200万人生まれていたのが今70万人、将来を考えれば負担増もやむを得ない」と答えた。健保連が、「現役世代の負担増は限界がある。高齢者の負担を増やす」の声を審議会答申で上げていることへの認識である。この制度そのものが続かないことは明らかである。この事業は廃止すべきである。



## 人権擁護委員

人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。



ながと ゆかりさん  
【再任】  
(村岡区耀山)  
◆任期は、令和8年1月1日から3年間です。



いまい よしふみ  
今井 好文さん  
【再任】  
(香住区境)  
◆任期は、令和8年1月1日から3年間です。

9月定例会において提案された議案はすべて原案通り可決しました。

## 質疑

②町たばこ税、加熱式たばこの課税見直しがされるが、税収増につながるのか。

②町たばこ税―本当たり  
の課税は増えますが喫煙  
者の減少から税収は同程  
度か減少します。

生計費非課税原則、応能負担原則の徹底、公正な税制への転換が求められています。この原則に背を向けた改正である。

本改正の恩恵が及ぶのは年収110万円から190万円の給与所得者に限られ、給与所得でない年金生活者、フリーランス・個人事業主、非課税世帯は取り残される。

また、たばこ税の課税方式の見直しは、防衛力強化を目的とした財源確保の一つとされている。

以上、問題点を指摘する。

賛成多数で可決

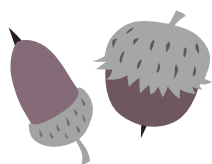
問 条例にある「住登外者」とは。

**答** 企画課「住登外者」は本町の住民基本台帳に記録されていない人です。家屋、土地を所有しているが本町に住所を有していない人です。

賛成多数で可決

◆香美町火入れに関する  
条例の一部を改正する  
条例

全員賛成で可決



9月定例会において提案された議案はすべて  
原案通り可決しました。

◆ 一般会計補正予算  
(第3号)

## 質疑

問 公共施設等除却事業費、山田体育館の基礎撤去費用の補正について事前に把握できなかったのか伺う。

**答** 生涯学習課 事前に把握していなかった訳ではなく、基礎の大きさに誤差があり補正が必要となりました。

問 町愛育会補助金について補正が必要になった

**答** 健康課 町愛育会の解散が理由となります。会員の高齢化と後継者不足が主たる要因です。

**問 子ども遠距離通院交通費助成費についてどの地域が対象になっているか。**

**答** 健康課 自宅から概ね100キロメートル以上離れた県内外（神戸・加古川・米子・岡山など）の病院へ通院している方が対象です。

**反対討論** 谷口 眞治 議員

反対理由は財源が十分あるにも関わらず町民の

策の提案がされていない。よって、この補正予算案は認めることができない。

賛成多数で可決

◆ 国民健康保険事業  
特別会計補正予算  
(第2号)

全員賛成で可決

◆介護保険事業

特別会計補正予算  
(第1号)

全員賛成で可決

◆ 公立香住病院事業

企業会計補正予算  
(第1号)

## 質疑

**問 職員が減少しているように感じるが現状は。**

**答** 病院事業管理者 夜勤可能な看護師が減少しています。看護師の確保に全力で取り組みます。

全員賛成で可決

◆水道事業

企業会計補正予算  
(第2号)

全員賛成で可決

◆**下水道事業**

企業会計補正予算  
(第1号)

全員賛成で可決

## 反對討論

山本 賢司議員



老朽化した水路

今年の梅雨明けは早く、6月末から7月中は、まとまった雨が降らず酷暑の上に干ばつになり、水路に水が乗らず渇水になった



ひがしがきのり お 東垣 典雄 議員

渇水対策に農業用水路の整備補助率アップを  
補助率は現行、既存制度の活用を促進します

地域がみられた。

水不足のほど水路の整備が必要と感じる。

令和元年度から令和3

年度に水利関係について、

3年間に限り補助率を

55%から75%にアップし

ている。

今、水田農業の維持のため、農地の集約化をすすめるため、水利関係補助率の

アップを求める。

町長

農業や水路は農業農村にとって不可欠な生産基盤であり整備は重要と考えています。

特例として3年間補助率を55%以内から75%以内として補助金を交付しました。

特例補助機関3年間の交付実績は、水路の修繕は

した。

このことから補助率のアップはせず、既存制度を活用していただくよう促進をはかります。



か35件、補助金4307万円の交付を行いました。

特例の期間で喫緊の整備と改修は果たせていると捉えています。

このことから補助率のアップはせず、既存制度を活用していただくよう促進をはかります。

# 町政を問う!

## 一般質問

9月定例会での一般質問は14人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます)

# 一般質問



モウっと牛を大切に!!



これで地域は安全か？

世界に誇る但馬牛の原産地であるわが町の畜産農家は、昔の集落内での1頭飼いから、現在は多頭飼育で人里離れた場所に牛



ふじい まさひこ  
藤井 昌彦 議員

## 「世界遺産」畜産業に更なる支援を 当産業だけ特別扱いできません

舎を立てざるを得ない。豪雪地帯での除雪費用、牛舎の構造も雪に耐える構造が必要で経費が高む。また、将来的な後継者不足の課題がある。

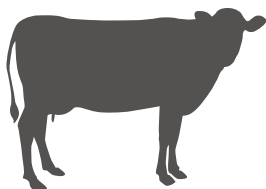
そこで

- ①道路除雪費の1割負担撤廃
- ②牛舎の建設に手厚い支援を

③後継者育成は町長 ①牛舎までの道路除雪は1割負担だけで充分優遇しています。

②今までより国県町から手厚い支援をしており、他産業との公平性もあり畜産農家だけ特別扱いできません。

③後継者対策として、地域おこし協力隊等での対応



を研究します。



8月20日、神戸市において刺殺事件が発生し、その2日後容疑者は逮捕された。スピード逮捕には防犯カメラや県警と警視庁



みづか おさむ  
見塚 修 議員

## 防犯カメラの増設を!! 美方警察署と協議し、増設します

の連携の良さが言われている。

今回の事件を受け、住民の不安が高まっている。

防犯カメラは犯罪予防や体感治安の向上が図られる役割がある。

神戸市は増設計画を立てている。本町でも住民の「いのちとくらしを守る」ため、防犯カメラの現状と

増設について伺う。

町長 町が管理している防犯カメラは19台で、自治会等が県や町の補助制度で29台を設置されています。官公庁や民間企業等の設置については把握していません。

町では今年度2台の設置を予定していますが、町民が安心して暮らせるよ

う、美方警察署と協議しながら引き続き、必要箇所に増設します。

また自治会等でも補助制度の活用で設置していただければありがたいです。





住民向け\_FINE-LINK+紹介チラシ



観光産業の活性化を



やまね のりあき  
**山根 典明 議員**

本年5月から導入した「ファインリンクプラス」(近畿では兵庫県と和歌山の二県で兵庫県では17市区町村で実施しているが

但馬では香美町のみ導入ですが、①導入実績②宣伝方法③今後の方向性④年配者が活用出来るツールは④介護タクシーの手配の計画はあるか伺う。

**町長** 導入の経緯に関し、令和6年度今後の医療と介護の連携に関する協議の場として推進会議を設置し情報連携ツール

としてファインリンクプラスを導入。  
①概ね41事業者に参加頂いている。  
②町内の関係する事業所を対象とした説明会を開催していますが、宣伝用の資料は作成していません。  
③厚生労働省と国立長寿医療研究センターが共同で開発したアプリの普及

を目指しております。  
④介護タクシー事業者については現在参加頂いておらず今年度の推進会議にてその実施について検討したいと考えています。

## ファインリンクプラスの導入に関して より運用が高まるように取り組みます





まつおか だいご  
**松岡 大悟 議員**

香美町の主幹産業である観光産業。集客方法の一つとして複数自治体が行政の境界を越えて連携し、テーマ性のある広域的な

観光ルートや観光圏を形成する特徴を持つのが広域観光連携です。  
香美町も数年前から但馬や麒麟のまち圏域、山陰海岸ジオパーク等広域的な観光連携を進めています。  
それらの連携により観光産業にどの程度プラス効果があつたのか伺う。

**町長** 本町では平成30年からDMO麒麟のまち観光局へ参画し、圏域での観光地巡りプロモーション、インバウンド誘客観光DXを行っています。以前から、山陰海岸ジオパーク推進協議会では、ジオパークを素材とした地域連携に取り組み、その他但馬観光協議会では、但馬

市町や観光関係団体が参画し、観光スポットモデルコース提案や周遊バス運行に取り組んできました。観光入込数への影響など、具体的な効果を数値で表すことは難しいですが、まちの魅力を知ってもらう機会増加につながり、関連市町相互の誘客に貢献すると考えています。

## 広域観光連携のメリット最大限に活かして！ 現状でも広域観光連携に取り組んでいます



# 一般質問



買い物を支える移動販売



早く利用しやすい施設に

本町における買物弱者や  
免許返納後の生活課題につ  
いて町はどのように捉えて  
いるか。  
町内で行われている移動



わきさか えいさく 議員  
脇坂 英作

買い物弱者を支える仕組みについて問う  
移動販売は町内約75%をカバーしています



販売の効果や今後の可能性  
をどのように考えるか。  
町長 独居や高齢者夫  
婦のみの世帯増加、人口減  
少に伴う支え合い機能の低  
下などから様々な課題が生  
じていると認識しています。  
移動販売事業は、在宅での  
生活を続けられる限界点を  
高める取り組みと考えてい  
ます。

人口の少ない地区では採  
算性やガソリン価格の上昇  
が課題となるが、現状をど  
う捉えているか。  
町長 町内の移動販売  
は5事業者により約75%を  
カバーしています。料金徴  
収がある場合もありますが  
利用意欲への影響は少なく、  
ガソリン高騰の相談もない  
ため、社会貢献の理念に基

づき運営されていると受け  
止めています。  
移動販売車のガソリン代  
補助について伺う。  
町長 補助は経済の仕  
組み上難しく、現時点で実  
施は考えていません。ただ  
し移動販売は高齢者福祉計  
画の目標達成や地域交流・  
孤立防止の場となることに  
期待しています。

村岡中央公民館を中心  
とする地域の整備を区民  
会議を起こして準備しよ  
う。エレベーター、図書室、  
展示スペース、調理室など



やまもと けんし 議員  
山本 賢司

住民の知恵で村岡区民の拠点に  
外部検討委員会も設置して検討します



の声がある。国道の合流点  
なので急速充電器の声、今  
でも調理室の配水が悪い  
の声も。  
検討状況は、区民に示し  
て、区民の願いが入れられ  
るよう求める。  
町長 村岡区中央公  
民館、村岡体育館は、昭和  
48年度整備で老朽化が著  
しく、村岡地域局も昭和63

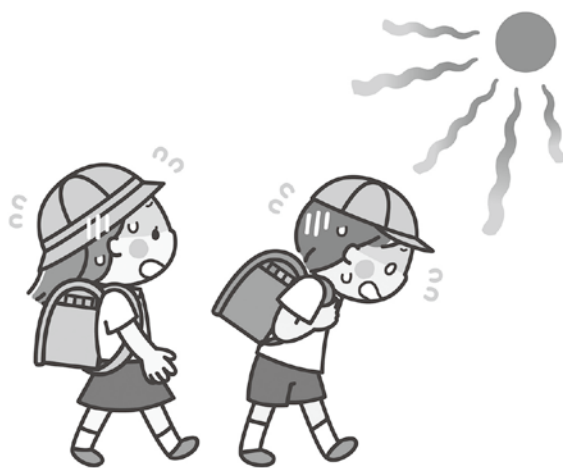
年度改築ですが、一部は旧  
庁舎を利用しています。令  
和4年度村岡地域協議で  
“三施設の一体的整備が必  
要”との提言がありました。  
これを受けて副町長と関  
係課長で内部検討委員会  
を立ち上げ、人口推移、少  
子高齢化、町の財政等を踏  
まえ、時期、配置、規模と機  
能など、先進地視察を行い

検討中です。これらが固ま  
り、方向が見えたら、公民  
館運営審議会や村岡区の  
各種団体で外部検討委員  
会を設置し、議員の示され  
た内容についても協議し  
ます。  
ワークショップ開催、意  
見聴取など全ての方が利  
用しやすい施設を目指し  
ます。

# 町政を問う!



町の未来像を血の通った言葉で



子どもたちの安全を第一に!

第3次総合計画において、町長はどのような方針、未来像を描くのかを問う。現実に進む人口減少の中で町をどう存続させるの



むら た ゆきのぶ  
村田 行信 議員

町長 私の目標です。今度の総合計画の策定にも大きく関わることでありますが、人口減少はもう本当に避けられない時代が来ると考えています。日本全体、都市部でも人

口が減る中で、私が目指すものは香美町という自治体の存続です。人口が減少しても、住民が自分の町に誇りを持てるようにし、現行の産業規模を守る仕組みづくりに全力を尽くします。総合計画は法的義務ではありませんが、10年後の香美町の姿を町民と共有

総合計画策定へ向け、自身の言葉で目標を  
私が目指すものは香美町という自治体の存続



し、あるべき未来像を体现する指針としたいと考えています。限られた人員の中でも、町民に喜びと希望を持つていただける計画となるよう取り組みます。

暑さ対応と通学通園の支援について伺う。  
教育長 子どもたちの登校時の熱中症対策・学校園内における対策や保護者・



にし たに ひさし  
西谷 尚 議員

地域との連携した取組や情報共有は出来ています。身体の弱い子どもの対応については、基礎疾患のある子どもは、学校で個々に対応が行われています。登下校時に関しては、保護者と十分な連携を図りながらの対応に重点を置いています。学校には保護者とよく相談をして1番いい

方法を選択するよう伝えられています。もしスクールバスが必要であれば、特別に認める事も十分考えています。保護者が相談に行ったら、学校の対応は「教育委員会に言ってくれ」教育委員会とは「学校に相談して欲しい」とたらい回し状態。落胆されていた。教育の現

場でこのようなことは許されない。  
教育長 言われる通りだと思っっています。教育委員会から学校の方に十分話をするように指示をしています。今後そのような事がないように進めて行きたいと思っています。

身体の虚弱子を守る通学通園支援の課題  
保護者と連携を図り対応します



# 一般質問



もう見られない風景



若者が輝く町へ

少子高齢化と人口減少で集落運営が困難になる中、町と集落の関係や支援の在り方を見直す必要があると思うが、以下について



たの きみひろ  
田野 公大 議員

## 集落の支援の在り方を考え直せ 相談や要望があれば積極的に対応します

て問う。

①兵庫県作成の「集落の将来を考えるサポーターズ」に沿った取組を町はどう考えているか。

②課題に対応する専門部署やプロジェクトチームを設置する考えはあるか。

町長

県は小規模集落の維持困難を背景に、広域的で住民主体の地域運

営体制の構築を進めており、本町でも同様の課題が生じています。

①県作成のサポーターズは地域課題を共有し意識を高める有用なもので、町も相談や要望があれば積極的に対応したいと考えています。実際には取組に踏み出す区自治会は少なく課題は大きいです。



②地域づくりは企画課が中心に進めており、プロジェクトチームの設置は必要性が高まれば検討しますが、現時点では考えていません。

若者支援・奨学金返済支援制度について問う。学生の3人に1人が平均300万円の奨学金の借金を背負って社会に出ている



たにぐち しんじ  
谷口 眞治 議員

## 若者支援・奨学金返済支援制度を！ 昨年からの県の制度の上乗せ補助をしています

と言われている。香美町でも町内中小企業の人材確保と若者の地元就職を促進するために奨学金の返済支援が必要ではないか。県に奨学金の返済支援があるが、町としても支援制度の充実を図るべきではないか。

町長

奨学金返済支援については、県が平成28年

度から全国の自治体に先駆けて県内中小企業の人材確保と若者の県内定着、経済的支援を図るために、若者社員の奨学金返済支援を行う中小企業とその従業員個人への支援金支給制度を始めました。本町も令和6年度から県の支援金の交付決定を受けた町内の中小企業と町内在

住の従業員個人に県の交付額の2分の1を一人に年3万円を限度に交付する制度を設けています。令和7年8月末の県内導入企業は397社あり、香美町は2社にとどまっています。この制度を活用し、企業イメージ向上や人材確保、若手従業員の支援につながる制度の周知を図ります。



# 町政を問う!



やりがいある職場づくりを



給食費の無償化を

人材育成に向けた検討が進められる一方、職員の早期退職や病気休暇の取得が見られる現状がある。首長とのコミュニケーション



いとう あつき 伊藤 敦紀 議員

現状で不足している認識はありません

職員とのコミュニケーションは十分か

シヨンが、職員のやりがいや仕事への貢献意識を高め、定着に繋がると言われているが、町長はどう考えるか。

町長

特別職と一般職という立場の違いがあるため一線を画す必要がある、また日々において個々の職員とコミュニケーションをとることは

非常に難しいと考えています。また、コミュニケーションを図る場を業務内で持つような余裕は香美町にはありません。

職員の離職についてはどのように考えているか。

町長

成人された方が社会人としてご自分の判断で離職を選択されたのであれば、私が引き止め

ることはありません。メンタルヘルス対策は十分か。

町長

公認心理士を招いて相談会を行うなどしています。さらに相談しやすい環境作りを図ったり、チェックの頻度を増やすなど改善にはできるだけ取り組んでいきたいです。



幼稚園、認定こども3歳以上、1号認定は幼稚園給食費はゼロ、認定こども園は、給食費のうち副食費0円、主食費については、保



もりうら しげる 森浦 繁 議員

保育園・認定こども園の給食費無償化を  
主食費を無償化することは、困難である

護者負担、白米代の納付保育所、認定こども園3歳以上児、2号認定は給食費のうち副食費0円、主食費については、保護者負担(白飯持参、または白米代の納付)となっている。物価高騰の中、白飯持参を無くし白米代納付を無償化し、保育料の軽減について伺う。

町長

3歳以上児の園児の食費は主食費と副食費からなりますが現在、町の施策として副食費相当額のみ無償化し、主食費は、各家庭にご負担をいただいています。保育所、認定こども園で主食費を無償化してない理由として主食の提供は、各園所での取扱いが異なり、自園で

白飯を提供して、その費用を徴収するところ、各家庭から白飯を持参してもらったところがあり、現状において主食費を無償化することは困難です。



# 一般質問

## \\ その他こんな質問もしました //

| 質問議員  | 質問項目                                                                       |
|-------|----------------------------------------------------------------------------|
| 東垣 典雄 | 世界農業遺産「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」を農業、畜産、観光にどう生かすかを問う。                      |
| 見塚 修  | いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて(Part 2)<br>(資源を活かす)<br>老朽公共施設の有効利用について伺う。  |
| 藤井 昌彦 | 米生産について<br>有害鳥獣対策について<br>子ども食堂について                                         |
| 山根 典明 | 職員利用する公用車の管理状況                                                             |
| 山本 賢司 | 町農政で守るべきでは？                                                                |
| 西谷 尚  | 一般家庭・高齢者の熱中症対策支援について問う。<br>熱中症に対する企業支援について問う。                              |
| 谷口 眞治 | 物価高対策について問う。<br>地球沸騰化対策について問う。<br>戦後80年の平和推進施策について問う。                      |
| 田野 公大 | 今後取り組まなければならない課題(IV)<br>地域おこし協力隊制度の活用を考える。                                 |
| 森浦 繁  | 児童生徒の通学時における安全について伺う。<br>村岡区学校再編の進捗と進め方について伺う。<br>民間事業者の事業における町の関わりについて伺う。 |
| 中村 崇志 | 但馬牛 魅力発信のあり方について問う。<br>より安心・安全な教育環境の実現へ向け現状を問う。                            |

地理院地図  
GSI Maps



山手の発展＝町政の前進

① 本町役場保有50区画の優良土地 香住区山手の活性化に最も重要な地域と考えるが、現状と今後について。



なかむら たかし  
中村 崇志 議員

活用計画・方針を伺う。  
② 町内外より購買目的の問合せはあるか伺う。  
町長 当保留地に付きましては令和2年8月に町が取得しています。  
① 山手保留地の活用計画は、令和3年2月から検討していますが、決定に至っていません。  
方向性としては、当

保留地は、町内でも優良な宅地であり、若者の移住・定住の促進などをはじめとする活用方法を検討するとともに、事業用地として起業・創業などへの活用も可能な宅地であり、今後の活用次第では活性化の起爆剤ともなる特に必要な場所であると考えています。また公共施設用地と

しての活用も視野に入れた検討することとしているところです。  
② 今年度数件いただいています。活用方法が未決定で、もう少し時間が必要な状況を説明しています。

香住区山手 町保留地50区画の活用法を問う  
未決定 優良宅地の為、活用法を検討します



## 追加議案

9月30日定例会において上程された追加2議案は全員賛成で可決しました。

・目的

普通河川丹生地川

改良工事

・方法

制限付一般競争入札

・金額

7690万1千円

・相手方

株式会社 中村建設

質疑

問 上流に架かる橋の改良計画はあるか。

答 建設課 今のところ計画は考えていません。

全員賛成で可決

◆令和7年度香美町

一般会計補正予算

(第4号)

・理由

①旧三川分校撤去工事200万円不足

②香住小学校の黒松2本のうち1本の伐採と

もう1本の松くい虫防除の委託料30万5千円を

計上。

全員賛成で可決

## 人事同意案件

香美町農業委員会委員



にしざき たけし

西崎 武志さん【新任】

(村岡区和池)

農業委員会委員として任命することに同意しました。

◆任期は、令和7年9月30日から令和8年4月20日までです。

## 令和6年度政務活動費を報告します

香美町議会では、会派が実施する調査研究等に必要経費の一部を政務活動費として交付しています。

この政務活動費は、条例に基づき、議員1人当たり月額5,000円(年間60,000円)を会派に対して支払われます。

令和6年度は、7つの会派が政務活動費の交付を受けて活動しましたので、その収支について報告します。

| 会派名           | 日本共産党<br>香美町議員団                                                                                                                             | 新風会                                                                                                                                                               | 香美町公明党                                                                                                                                                                                    | 香美創生                                                                                                                                               | みらいの香美                                                                                                                                                                                    | 清流会                                                                                                                                                                                               | 夢望会                                                                                                                                                                          |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所属人数          | 1人                                                                                                                                          | 2人                                                                                                                                                                | 1人                                                                                                                                                                                        | 4人                                                                                                                                                 | 1人                                                                                                                                                                                        | 3人                                                                                                                                                                                                | 3人                                                                                                                                                                           |
| 代表者           | 谷口 眞治                                                                                                                                       | 見塚 修                                                                                                                                                              | 西谷 高弘                                                                                                                                                                                     | 西川 誠一                                                                                                                                              | 東垣 典雄                                                                                                                                                                                     | 藤井 昌彦                                                                                                                                                                                             | 南垣 誠                                                                                                                                                                         |
| 所属議員          | —                                                                                                                                           | 上田 勝幸                                                                                                                                                             | —                                                                                                                                                                                         | 吉川 康治<br>田野 公大<br>岸本 正人                                                                                                                            | —                                                                                                                                                                                         | 松岡 大悟<br>西谷 尚                                                                                                                                                                                     | 森浦 繁<br>小谷 康仁                                                                                                                                                                |
| 交付額(a)        | 60,000円                                                                                                                                     | 120,000円                                                                                                                                                          | 60,000円                                                                                                                                                                                   | 240,000円                                                                                                                                           | 60,000円                                                                                                                                                                                   | 180,000円                                                                                                                                                                                          | 180,000円                                                                                                                                                                     |
| 調査研究費         |                                                                                                                                             | 48,353円                                                                                                                                                           | 45,775円                                                                                                                                                                                   | 192,980円                                                                                                                                           | 41,310円                                                                                                                                                                                   | 29,540円                                                                                                                                                                                           | 148,477円                                                                                                                                                                     |
| 研修費           |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           | 42,422円                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                              |
| 広報・公聴費        | 5,000円                                                                                                                                      | 27,085円                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           | 105,122円                                                                                                                                                                                          | 27,085円                                                                                                                                                                      |
| 要請陳情等活動費      |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                              |
| 会議費           |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                              |
| 資料作成費         |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                              |
| 資料購入費         | 42,215円                                                                                                                                     | 33,114円                                                                                                                                                           | 5,000円                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                    | 54,501円                                                                                                                                                                                   | 11,700円                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                              |
| 事務費           | 6,530円                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                              |
| 人件費           |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                              |
| 支出額合計(b)      | 53,745円                                                                                                                                     | 108,552円                                                                                                                                                          | 50,775円                                                                                                                                                                                   | 192,980円                                                                                                                                           | 95,811円                                                                                                                                                                                   | 188,784円                                                                                                                                                                                          | 175,562円                                                                                                                                                                     |
| 町への返還額(a)-(b) | 6,255円                                                                                                                                      | 11,448円                                                                                                                                                           | 9,225円                                                                                                                                                                                    | 47,020円                                                                                                                                            | 0円                                                                                                                                                                                        | 0円                                                                                                                                                                                                | 4,438円                                                                                                                                                                       |
| 政務活動費を使った主な活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・公聴費<br/>町政報告会</li> <li>・資料購入費<br/>活動のために必要な新聞・図書等の購入</li> <li>・事務費<br/>活動に必要な事務用品等を購入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究費<br/>高山市コンパクトシティ及びGoトレに関する調査(8/1~2)</li> <li>・広報・公聴費<br/>視察報告日より発行</li> <li>・資料購入費<br/>活動のために必要な新聞・図書等を購入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究費<br/>観光活性化に向けた研修(8/1~2)</li> <li>姫路城におけるインバウンドの動向及び播磨町中学校の部活</li> <li>地域移行に関する研修(10/29~30)</li> <li>・資料購入費<br/>活動のために必要な新聞・図書等を購入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究費<br/>観光活性化に向けた研修(8/1~2)</li> <li>姫路城におけるインバウンドの動向及び播磨町中学校の部活</li> <li>地域移行に関する研修(10/29~30)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究費<br/>観光活性化に向けた研修(8/1~2)</li> <li>姫路城におけるインバウンドの動向及び播磨町中学校の部活</li> <li>地域移行に関する研修(10/29~30)</li> <li>・資料購入費<br/>活動のために必要な新聞・図書等を購入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究費<br/>廃校利活用先進事例に関する調査(1/14~15)</li> <li>・研修費<br/>議会議員特別セミナー参加(4/18~19)</li> <li>・広報・公聴費<br/>活動報告書発行</li> <li>・資料購入費<br/>活動のために必要な新聞・図書等を購入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究費<br/>不登校に関する調査(6/10)</li> <li>磯焼けに関する調査(7/18)</li> <li>高山市コンパクトシティ及びGoトレに関する調査(8/1~2)</li> <li>・広報・公聴費<br/>視察報告日より発行</li> </ul> |

# この人ここにあり

『美方郡広域シルバー人材センター』

理事長 小谷 耕作さん(香住区)



◆シルバー人材センター  
はどんな仕事・活動をして  
いますか？

除草・草刈りや植木の  
剪定、公園・駅・公共ト  
イレなどの清掃のほか、  
夜間の施設管理、空き家  
の見回りや墓掃除など、  
多様な仕事を請け負って  
います。最近では空き家  
の見回りの際、屋根点検  
にドローンを活用するな  
ど、新しい分野にも挑戦  
しています。

また、シルバー人材セ  
ンターは必ずしも、仕事  
をしなければならないわ  
けではなく、手芸やグラ  
ウンドゴルフなどのサー

クル活動、旅行、しめ縄  
づくりや植木の剪定講習  
など、さまざまな講習会  
も行っています。

◆理事長になった経緯・  
これまでの経歴

定年退職後は、地元の  
交通業や送迎などに携  
わってきました。

その後、縁があり知人  
の紹介でシルバー人材セ  
ンターに入会。

入会して間もなく理事  
に選ばれ、その後すぐに  
理事長に就任しました。

現在は9年目を迎え、  
これまで県連の理事やブ  
ロック長としても活動し  
ました。

◆理事長として心がけて  
いることは？

安全第一で、無理なく  
長く続けることを大切に  
しています。ちょっとし

た油断が、事故のもとに  
なるため、猛暑期はこま  
めな休憩や複数人での作  
業を徹底し、熱中症や転  
落事故の防止に努めてい  
ます。

また、美方郡広域シル  
バー人材センターは県下  
でも、会員数の少ない団  
体ですが、県連に出席す  
れば規模に関係なく同じ  
立場。意見すべきところ  
は、しっかり言うように  
心がけています。

◆会員さんのやりがい・  
生きがいは、どんなところ  
にありますか？

会員へのアンケートで  
は、仲間づくりがしたい  
という声が多いです。

活動を通して仲間づく  
りし、報酬を得ながら体



を動かすことが、何より  
のやりがい・生きがいに  
なっていると声が、多  
く寄せられました。

グラウンドゴルフや手  
芸などの、サークル活動  
だけに参加する人もおり、  
そうした交流の中で、自  
然に仲間ができるのが、  
シルバー人材センターの  
いいところです。

会員の平均年齢はおよ  
そ75歳ですが、元気な方  
は85歳くらいまで、生き  
がいを抱いて働いておら  
れます。無理のない範囲  
で体を動かし、人と関わ  
りながら活動を続けるこ  
とが、健康の秘訣にも  
なっているようです。

◆活動を通して感じる地  
域の変化や課題は？

空き家や高齢世帯の増  
加により、多種多様な暮  
らしの小さな困りごとに  
対応する仕事が増えてい  
ます。

一方で、高齢化社会の  
中で、企業の定年延長な  
どにより会員数が少なく、  
外仕事が集まる夏場や、  
お盆前のお墓掃除など、

季節的な仕事が増える時  
期には人手が不足し、依  
頼を断らざるを得ないこ  
ともあります。会員を増  
やすことが今の課題です。



◆議会や行政に望むこと  
は？

シルバー人材センター  
の活動をもっと周知し、  
入会への橋渡しを手伝っ  
てほしいと思います。

さまざまな場面で「シ  
ルバー人材センターに参  
加してみませんか」と声  
をかけてもらえるような、  
きっかけづくりを期待し  
ています。



## 編集後記

暑かった夏が過ぎ、過  
ごしやすい季節になりま  
した。猛暑による水不足  
を乗り越えて実りの秋を  
迎え、町内では祭りなど  
の多くの行事が行われて  
います。

さて、議会が新体制と  
なり、2回目の「議会だよ  
り」です。私を含め、半  
数以上が新人議員で構成  
されている広報公聴常任  
委員会では、日々様々な  
視点で議論が行われてい  
ます。今後もそうした議  
論を通して、町民の皆さ  
まにより届きやすく、よ  
り伝わりやすい情報発信  
を目指して、新たな意見  
を積極的に取り入れてい  
き、本紙だけではなくオ  
ンラインでの配信なども  
含めた、よりよい広報の  
あり方を考えていきたい  
と思っています。

広報公聴常任委員会

副委員長 伊藤 敦紀

### 広報公聴常任委員会

委員長 山根 典明

副委員長 伊藤 敦紀

委員 村田 行信

委員 中村 崇志

委員 脇坂 英作

委員 東垣 典雄

委員 藤井 昌彦